

# TAC通信

毎月、TAC (担い手支援担当) の取組み状況などをご報告いたします。

組合員の皆さん、こんにちは！

今年度より菖蒲地区（北部エリア）担当TACになりました田中雄一郎です。

昨年までは菖蒲営農経済センターに所属しておりました、苺生産組織団体事務局として精算、販売等を担当させていただいておりました。4月から営農渉外（TAC）となり、栽培管理や栽培技術など分からない事だらけですが、早く組合員の方のお力になれるよう頑張っていきたいと思います。



さて、皆さんは埼玉県のオリジナル品種の苺「あまりん」をご存知でしょうか？

「あまりん」の特徴は、酸味が抑えられており、糖度が高く甘さが際立ち果肉がとてもジューシーな品種になります。現在は観光農園での直売が中心となっておりますので、量販店では販売されていることが少なく、消費者が手にとることは、なかなかできません。

一昨年からJA南彩苺共販部会でも少量ではありますがグリーンセンターへの出荷が始まり、ご購入いただいた方からは喜んでくれる声をいただくことができました！

埼玉県のオリジナル品種ということで、今後は多くの生産者に、「あまりん」の生産増加へ繋げるため、関係機関と連携して情報の提供などをさせていただき、「あまりん」栽培への関心を持っていただけるようにTAC活動を頑張っていきたいと思います。